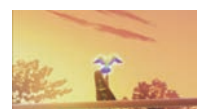


(1) 快適な環境

～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる



1) 水とみどりのまちづくり

施策 1

水環境の保全

▶ 施策の意図

市民にとって身近な河川を保全します。

▶ 現状と課題

本市には、綾瀬川をはじめ、多くの河川や水路が縦横に流れています。かつてこれらの河川や水路は、情緒豊かな野の川として風情を醸し出すとともに、舟運や水田耕作など地域の産業を育み、生活に密着した存在でした。

しかし、都市化に伴い流域で宅地化が進行し、河川や水路は、かつてのうるおいある空間としての魅力を失い、地域の生活から離れた存在になりつつあったため、これまで本市では、河川や水路を草加の貴重な自然空間としてとらえ、市民共有の財産とするため、綾瀬川をはじめ伝右川や葛西用水、谷古田用水などの親水化や水質浄化対策、公共下水道を推進してきました。

▶ 施策の方針

- さらに水とみどりが一体となった地域資源の活用を図るため、水質浄化や水量確保、子どもが水辺に近づける親水空間*の創造など、水環境の改善を図り、河川環境の適切な維持管理をめざしながら、水とみどりをいかしたまちづくりを推進します。

▶ 施策の柱

- ① 水質浄化対策の推進
- ② 親水空間の創造・維持管理の推進

▶ 関連施策

- 施策2 みどりの保全と創出
- 施策3 環境を守り育てる
- 施策7 総合的な治水対策の推進

▶ 関連分野別計画等

草加市環境基本計画

* 親水空間… 川や水辺が持つレクリエーション機能、心理面、空間面での効果等に着眼し、人が水と親しめるようにしつづえられた空間のこと

▶ 草加市未来まちづくり市民会議で出された協働のイメージ

市民の役割	● 食用油や化学薬品等を流しに流さない ● 川にゴミを捨てない
地域の役割	● 川の周辺のごみの清掃活動などを行う ● 川に落ちているゴミを拾う
事業者の役割	● 事業所からの排水をできる限り汚さない ● 地域と協力して川の周辺の清掃等の活動などを行う
行政の役割	● 市民の水質浄化意識を啓発する ● 流域の自治体等と連携して水質浄化に取り組む ● 空間を安全・安心に使えるよう保全する

※このイメージは各施策における役割分担の一例です。実際の役割分担は、個別施策ごとに関係する各主体の協働の中で決まってくるものと考えます。

INFO

◆ 水辺環境整備事業 ◆

草加市においては、この埼玉県との取組と連携し、越谷～草加～八潮～東京都を流れる東京葛西用水の水辺環境を遊歩道でつなぎ、広域的なネットワークを形成することにより、周辺スポットからの利用やウォーキング利用など、水辺の賑わいを創出する取組を行っています。

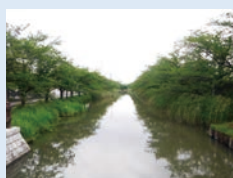
● 連携・協働の仕組み

草加市取組例



葛西用水を活用したイベント風景（写真は「草加さくら祭り」の様子）。

● 護岸整備・遊歩道整備



整備前

市町村

ー水辺空間の整備ー

- ・地域振興に資する水辺づくり

ー地域振興ー

- ・協議会を運営して提案を具体化
- ・イベント企画等で利活用促進
- ・住民や関係団体等と維持管理

連携
協働

地域、住民等

ー利活用や維持管理ー

- ・地域振興イベント等実施
- ・ウォーキングや散策等で利用
- ・清掃活動等の維持管理
- ・川の国広援団として清掃活動

県

ー利活用の推進ー

- ・冬期通水の調整
- ・利活用や維持管理を支援
- ・水辺空間の整備を支援

地域の取組例



地元自治会や活動団体がゴミ拾いや花の植栽など、維持管理を実施。

埼玉県の取組例



整備後

農業用水として利用のない冬期も水を流すことで、水辺の環境が改善。

1) 水とみどりのまちづくり

施策 2

みどりの保全と創出

▶ 施策の意図

快適な生活環境を形成するため、みどりとオープンスペースの保全・整備及び緑化を進めます。

▶ 現状と課題

環境問題への取組や自然とのふれあい、健康増進のための場づくり、子どもたちが安全にのびのびと遊べる環境づくりなどへの要請が高まる中で、都市におけるみどりの役割は重要となっており、新たな公園・広場の整備に加え、既存の公園・広場の利活用も重要な課題となっています。

また、多くの生産緑地地区が令和4年（2022年）に指定期間の満期を迎え、都市農地の減少の可能性があります。

このため、みどりと水辺を身近に体感できる快適都市をめざし、みどりとオープンスペースの保全と整備や緑化の推進などを総合的に推進するため、平成29年（2017年）4月に「みどりの基本計画」を策定しました。

▶ 施策の方針

- 「みどりの基本計画」に基づき、水辺空間やその周辺のみどり、みどりと一体となった歴史・文化資源の保全に取り組みます。
- みどりとふれあうことができ、地域コミュニティの形成や防災活動の場としても活用できる、地域の拠点となる身近な公園・広場の整備・充実を図ります。
- みどりを学ぶ機会の充実、市民による緑化活動や公園管理を推進します。

▶ 施策の柱

- ① みどりの保全
- ② 身近なみどりの創出
- ③ 市民との協働による身近なみどりづくり

▶ 関連施策

- 施策1 水環境の保全
 施策3 環境を守り育てる
 施策4 良好なまちづくりの推進
 施策13 地域とともに栄える産業の振興
 施策22 市民自治の推進

▶ 関連分野別計画等

- 草加市みどりの基本計画
 草加市公園施設長寿命化計画

▶ 草加市未来まちづくり市民会議で出された協働のイメージ

市民の役割	● 自宅の庭やベランダなどで植物を育てる ● 市内の農地を守るため、草加産の農産物を購入し食べる
地域の役割	● 地域で花やみどりを育てる活動を行う ● 地域の公園などの身近なみどりを管理する
事業者の役割	● 事業所内で植物を育てる ● 市内の農地を守るため、草加産の農産物を積極的にPRし、販売する
行政の役割	● みどりの保全、創出、育成に関する意識啓発をする ● 公園やみどりにふれあえる場などを整備する

※このイメージは各施策における役割分担の一例です。実際の役割分担は、個別施策ごとに関係する各主体の協働の中で決まってくるものと考えます。

INFO

◆ 草加市みどりの基本計画が対象とする「みどり」 ◆

草加市みどりの基本計画では、公園・広場、街路樹、農地、河川・水路沿いの水辺の緑地のほか、公共施設や民有地の花や緑（建物の緑化スペースや住宅地の生垣・庭等）などを包含する言葉を「みどり」として定義しています。



2) 環境との共生

施策 3

環境を守り育てる

▶ 施策の意図

身近な自然の保全と環境負荷の低減を図ります。

▶ 現状と課題

環境問題は、地球環境、ごみ問題、環境衛生など多岐にわたっていることから、その解決には、個々に対応するだけでなく、総合的な対策が必要となります。

また、環境問題は、市民一人ひとりが考えるべきこと、行政が考えていかなければならないこと、さらには日本全国、地球規模で検討しなければならない分野もあります。

そのため、環境を守り育てるための施策については、各々が主体的に考えるべきこと、また、できることを確実にやっていくことに加え、市民、事業者、行政の連携と役割分担が必要となります。

▶ 施策の方針

- 環境を守り育てるため、市内に残る樹林、農地、河川・水路などの自然環境を、市民が身近に自然とふれあえる場として保全と創出を図り、多様な生物と共生するまちづくりをめざします。
- 環境負荷の低減については、循環型社会^{*1}の構築に向けての取組として、資源の再利用を促進するとともに、地球温暖化対策として、民間企業や大学などと連携しつつ、再生可能エネルギー^{*2}の導入拡大を図る中で、エネルギー利用の効率化に向けた環境整備の取組への支援などについても検討し、低炭素型まちづくり^{*3}をめざします。
- 引き続き環境学習を推進し、一人ひとりが環境及び循環型社会の重要性を再認識するよう、啓発事業を促進します。
- 公衆衛生の維持を図り、環境を守り育てる取組を行っていきます。

▶ 施策の柱

- ① 低炭素型まちづくり
- ② 循環型社会の構築
- ③ 自然共生型まちづくり
- ④ 環境衛生

* 1 循環型社会…………… 有限である資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させながら利用していく社会

* 2 再生可能エネルギー… 太陽光など、自然界により利用する以上の速度で補充されるエネルギー

* 3 低炭素型まちづくり… 都市のコンパクト化、エネルギー利用の効率化等を通じて、CO₂の排出量が少ない都市の実現をめざすこと

▶ 関連施策

- 施策1 水環境の保全
- 施策2 みどりの保全と創出
- 施策5 交通利用環境の改善促進
- 施策13 地域とともに栄える産業の振興
- 施策22 市民自治の推進
- 施策32 消費者の自立と支援

▶ 関連分野別計画等

- 草加市環境基本計画
- 草加市環境にやさしい市内率先実行計画
- 草加市ごみ処理基本計画

▶ 草加市未来まちづくり市民会議で出された協働のイメージ

市民の役割	● まちの環境を汚さないようにする ● 二酸化炭素などの温室効果ガスをできるだけ出さないように生活する ● ゴミをできるだけ出さないようにする
地域の役割	● まちの環境美化を進める ● 資源のリサイクルなどに取り組む
事業者の役割	● 二酸化炭素などの温室効果ガスをできるだけ出さないように事業活動を行う ● 効率的にエネルギーを利用する仕組みを考え、導入する ● ゴミをできるだけ出さないようにする
行政の役割	● 環境教育を推進し、環境への啓発を図る ● 環境にやさしい都市づくりを進める

※このイメージは各施策における役割分担の一例です。実際の役割分担は、個別施策ごとに関係する各主体の協働の中で決まってくるものと考えます。

INFO

◆ 「スマートフォン向け
草加市ごみ分別アプリ」を発信中! ◆

「今日は不燃ごみ? 資源ごみ?」、「ごみを出し忘れてしまった!」、「大きいごみはどこに電話をしたら取りに来てくれるの?」そんな経験はありませんか?

草加市ごみ分別アプリではごみの収集日をお知らせしたり、ごみの出し方や出すときの注意点、ごみの分別など、ごみに関する様々な役立つ情報を提供します。

※草加市ごみ分別アプリはこちらから

草加市 ごみ分別アプリ

検索



